



Smart-Channel の設定

この章では、Cisco NX-OS デバイスでスマート チャネルを構成する方法について説明します。
この章は、次の項で構成されています。

- [スマート チャネルの有効化 \(1 ページ\)](#)
- [ポート グループの構成 \(2 ページ\)](#)
- [スマート チャネル サービスの構成 \(3 ページ\)](#)
- [スマート チャネル構成の確認 \(5 ページ\)](#)

スマート チャネルの有効化

デバイスでスマート チャネル サービスを構成する前に、スマート チャネル機能を有効にする必要があります。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] feature smart-channel**
3. (任意) **show feature | grep smart-channel**
4. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	[no] feature smart-channel 例： switch(config)# feature smart-channel	Smart Call Home を有効または無効にします。デフォルトでは、Smart Call Home は無効です。
ステップ 3	(任意) show feature grep smart-channel 例： switch(config-if)# show feature grep smart-channel	スマートチャネル構成のステータスを表示します。
ステップ 4	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

ポートグループの構成

スマートチャネルを有効にした後、ポートグループを作成し、そのグループでアクティブインターフェイスを設定する必要があります。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] smart-channel port-group port-group-name**
3. **interface ethernet type slot/port**
4. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します
ステップ 2	[no] smart-channel port-group port-group-name 例： switch(config)# smart-channel port-group Webservers switch(config-port-group)#	ポートグループを作成または削除します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	必須: interface ethernet <i>type slot/port</i> 例 : <pre>switch(config)# interface ethernet 3/1 switch(config-if)#</pre>	ポート グループのアクティブ インターフェイスを設定します。
ステップ 4	(任意) copy running-config startup-config 例 : <pre>switch(config-port-group)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

スマート チャネル サービスの構成

スマート チャネル サービスを構成するには、次の手順を実行する必要があります。

1. サービス名を構成します。
2. VLAN/ソース/接続先フィルタを構成します
3. ポート グループを ITD-L2 サービスに関連付けます
4. 負荷分散スキームを指定する
5. スマート チャネル サービスをアクティベートします

始める前に

スマート チャネル サービスを構成する前に、スマート チャネル機能を有効にする必要があります。



- (注) Cisco Nexus NX- OSリリース 9.3(3) 以降、スマート チャネル機能はサポートされていません。以前のリリースから 9.3(2) 以降のバージョンにアップグレードするときに、必要なアクションを実行することをお勧めします。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] smart-channel** *service-name*
3. **[no] access vlan** *access-vlan* | **vlan** *vlan-range*
4. **[no] port group** *port-group-name*
5. **[no] load-balance method** [*src* | *dst*]
6. **[no] destination filter ip** *any* [*any*]
7. **[no] source filter** [*ipanyany*]

8. **[no] load-balance method [src | dst] Bucket B**
9. **no shut**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	必須: [no] smart-channel service-name 例 : <pre>switch(config)# smart-channel WebTraffic switch(config-smart-channel)#</pre>	スマート チャネル サービスを構成または無効にします。
ステップ 3	[no] access vlan access-vlan vlan vlan-range 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# access vlan 10-20 switch(config-port-group)#</pre>	ITD-L2 サービスの VLAN のリストを構成します。 アクセス VLAN はアクセス モードでスマートチャネルを作成しますが、VLAN 範囲内の VLAN はトランク モードでスマートチャネルを作成します。
ステップ 4	[no] port group port-group-name 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# port group WEBSEVERERS switch(config-smart-channel)#</pre>	ポートグループを ITD-L2 サービスに関連付けます。
ステップ 5	[no] load-balance method [src dst] 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# load-balance method src-ip switch(config-smart-channel)#</pre>	負荷分散メソッドを構成します。
ステップ 6	[no] destination filter ip any [any] 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# destination filter ip any any switch(config-smart-channel)#</pre>	選択した接続先サブネットを構成します。
ステップ 7	[no] source filter [ipanyany] 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# source filter ip any any switch(config-smart-channel)#</pre>	選択した送信元サブネットを構成します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	[no] load-balance method [src dst] Bucket B 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# load-balance method src Bucket 16 switch(config-port-group)#</pre>	負荷分散メソッドを構成します。
ステップ 9	no shut 例 : <pre>switch(config-smart-channel)# no shut switch(config-smart-channel)#</pre>	スマート チャネル サービスを有効にします。

スマート チャネル構成の確認

スマート チャネルの表示コマンド

スマート チャネル構成を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

手順の概要

1. **show smart-channel service-name**
2. **show vlan access-list vlan access-map name**
3. **show running-config smart-channel [all]**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show smart-channel service-name	スマート チャネルの構成状態を表示します。
ステップ 2	show vlan access-list vlan access-map name	スマート チャネル サービスの統計情報を表示します。
ステップ 3	show running-config smart-channel [all]	スマートチャネルの実行コンフィギュレーションを表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。